







5年『海と生きる探究活動』年間指導計画デザインシート（プログラムチャート）

単元名	世界につながるぼくらの海郷学【60時間】	テーマ	生態系・多様性・水産資源・食文化・国際協調 気候変動・防災減災・海洋汚染	関連教科等	総合的な学習の時間, 国語, 社会, 理科, 学校行事
総括目標	震災から9年が経過し、以前のような町並みや水産関連会社等が戻りつつあるこの鹿折地区について、故郷復興へ向けた地域の人々の熱い思いと、水産業を通して世界とつながっている鹿折のよさを「ひと・もの・こと」の視点からみつめ、「海と生きる」ふるさと気仙沼について自分の考えをもち行動できる児童を育てる。			SDGs 関連	     
身に付けたい資質能力	【知識及び技能】・・・気仙沼市や鹿折地区が抱える諸課題が、身の回りの地域のみならず、地球規模での自然・社会環境の変化に起因していることを理解することができる。探究課題の解決に必要な情報を体系的に収集し、それらを整理・分析することができる。 【思考力・判断力・表現力等】・・・気仙沼市や鹿折地区が抱える課題を解決するために何が必要なのかを、学んだことを多角的・多面的に考えて表現することができる。自分やグループで設定した探究課題についての考えを、学校内外の人々に広くわかりやすく情報発信することができる。 【学びに向かう力・人間性等】・・・探究課題解決のために学校内外の他者と協働し、対話的に考えを深めようとする。探究課題解決に主体的に取り組み、学んだことを進んで日常生活に生かそうとする。			【主な連携機関と内容】 ・東京大学海洋アライアンスセンター【環境：実験（海流と風）】 ・東北大学【環境：講話（風・地球温暖化）】 ・宮城県北部圏圏漁業組合【船・漁法（マグロ延縄船見学）】 ・気仙沼市漁業組合・観光コンベンション協会【食・漁法・観光】 ・鹿折水産加工組合【食・魚：（大型冷蔵庫見学）】 ・（株）ほてい・（株）ミヤカン【食・魚：（加工工場見学）】 ・（株）みらい造船所木戸浦工場【船：（新造船・修復船見学）】	
学期	1学期（4～7月）		2学期（8～12月）		3学期（1～3月）
探究過程	課題設定（問題・理由）	課題探究（体験・見学・観察・実験・調査・情報収集・分析・根拠・整理）			発信（発表・提言・行動）
育みたい資質能力（学力）	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等
	とらえる【F】 ～情報の読解力～	判断する【I】 ～科学的に思考・吟味する力～	切り拓く【S】 ～能動的に学ぶ姿勢、価値を生み出す感性、探究力～	つなぐ【H】 ～対話力・志～	
探究活動（海探）	（オリエンテーション） 一年間の見直しをもと（1）時間 ・4年生での学習を振り返る。 ・学び方の確認をする。 ・意見と理由を区別して、正しく聞き取ることを学び。	課題探究【第1次】（一斉・グループ） 探究課題を設定しよう（1）時間 ○第一次探究課題を設定する（1時間） 【予想される課題】 ・なぜ、気仙沼にカツオなどの魚が多く水揚げされるのか。 ・漁船はどのように漁をするのか。 ・漁船はどのように建造されるのか。 ・水産加工品の製造工程を調べよう。 ・漁船にはなぜ外国人が乗船しているのか。 ・気仙沼の海はなぜ豊かなのか調べよう。 ・気仙沼の海が豊かなのは、潮目が近くにあるから。 ・漁船に外国人が乗船しているのは外国から日本に勉強をしにきているから。	ガイダンス【第2次】（探究課題カテゴリーの吟味） 1学期を振り返ろう（1）時間 ○一学期の学習を振り返る（1時間） ・一学期の第一次課題について振り返り、第二次課題を設定する。 課題探究【第2次】（探究課題別グループ・個） 気仙沼の水産業を調べよう②（25）時間 ※他教科の時間も含む（社8・国3） A 環境 課題探究（グループ・個） ・舞根森里海研究所の畠山重篤・信さんの講話（体験学習） ・丹羽教授（東京大学海洋教育センター）の海流実験 ・須賀教授（東北大学）の講話 B 国際 課題探究（グループ・個） ・マグロ延縄船や水産加工場の外国人労働者 ・漁船の航路等、気仙沼との地理的なつながり ・SDGs との関連（発展途上国の産業基盤形成に向けた気仙沼企業の取り組み）・外国人交流会 C 漁業 課題探究（グループ・個） ・マグロ延縄船の船内見学（北かつ菊田氏） ・みらい造船所見学 ・シラス号乗船体験 ・出船送り ・第58八幡丸との交流 D 食・加工 課題探究（グループ・個） ・鹿折水産加工協同組合冷凍庫見学 ・水産加工場見学（気仙沼ほてい・ミヤカン） ・水産加工場の外国人労働者との対話 ・スローフードについて調べる D 船 課題探究（グループ・個） ・みらい造船所の製造工程調査 ・気仙沼海洋高等学校との交流（シラス号乗船） ・マグロ延縄船の乗船体験 ・海上輸送（国土交通省）について調べる	課題探究【発展】（グループ・個） 海洋サミットを振り返って（2）時間 ○課題を修正する（1時間） ・海洋サミットで他地域、他校の発表を聞き、自分の探求課題を振り返って修正・発展・補充を行う。 ○海とつながる産業と私たちの生活（1時間） ・海とつながる産業と私たちの生活について考える。 ・京都議定書に基づいて環境保護活動に取り組んでいる人たちの活動から、地球温暖化を防ぐ取組について考える。 ・造船業の課題（後継者問題等）について考える。 ・多文化理解と私たちの町の変容について考える。 ・これからの産業の在り方と自分たちの生活について考える。	
探究内容エッセンシャルズ 【生命】 生態系 多様性 水産資源 食文化 健康 歴史民俗 国際協調 【環境】 気候変動 大気循環 地形地質 海洋資源 海洋汚染 観光居住 【安全】 防災減災 領土領海 海上輸送 法規条約	課題設定（個）【第1次】 気仙沼の水産業を調べよう①（11）時間 気仙沼と海はどんなつながりがあるのだろうか？ ○魚市場を見学しよう（4時間） ・魚市場見学を通して、気仙沼市に水揚げされる魚種、漁船、水揚げ量について知る。 ・海の中で販売される魚種、加工品、多様な販路について知る。 ○水産加工場を見学しよう（3時間） ・鹿折水産加工組合、ほてい工場見学を通して、魚（サメ・カツオ）の加工方法、魚や加工品の流通経路、外国人研修生について知る。 ○漁船について調べよう（4時間） ・みらい造船所見学を通して、船の建造工程を理解する。 ・マグロ延縄船に乗船して船の造りとマグロ漁法・漁場について理解する。	行動・発信・振り返り【第1次】 調べたことを発表しよう（3）時間 ○第一次探究課題についてまとめる（2時間） ・テーマをもとに調べたことを、構成を考えながらまとめる。資料や写真などの効果を考えながらまとめる。 ○ポスター発表会をしよう（1時間） ・学級の中でポスター発表会をする。 【期待する効果】 ・体験・見学しながら自分の課題に沿った資料を収集する力の育成と、それを活用しながらわかりやすく意見を伝える力の向上	対話・発表・共有 海洋こどもサミットで発信しよう（10）時間 ○調べたことを整理しよう（5時間） ・議論に対して2つの立場に別れ、互いの主張とその理由を明確にしながら計画的に討議をする。 ・資料から情報を読み取り、読み取った情報を活用して、文章を書いたり選択したりすることができる。 ○調べたことや実践したことをポスターにまとめ発信しよう（5時間） ・個人探究課題について調べたことを発表する。（動機・課題・方法・内容・成果・課題） ・発表したことを振り返り、疑問に思ったことや、さらに調べたいことをまとめる。	行動・発信・振り返り（グループ・個） 海のフォーラム in 鹿折（6）時間 ○調べたことをまとめよう（4時間） ・ポスター発表の準備をする。 ・ポスターの他にCMやパンフレット等を作成する。 ○調べたことや実践したことをポスターにまとめ発信する（2時間） ・個人探究課題について調べたことを発表する。（動機・課題・方法・内容・成果・課題） ・友達の発表を聞き、意見交換を行う。（パネルディスカッション）	